

令和 6 年度

○指定校

- (1) 藤岡市立小野中学校 (2) 下仁田町立下仁田中学校 (3) 川場村立川場中学校
(4) 玉村町立南中学校 (5) 県立前橋南高等学校 (6) 県立高崎女子高等学校
(7) 県立伊勢崎高等学校 (令和 6 年度より)

○協力校

(小学校 10校)

沼田市立沼田小学校※、沼田市立池田小学校※、安中市立西横野小学校※

指定校中学校区小学校 7 校

(県立高等学校 9 校)

前橋高等学校、前橋女子高等学校、高崎高等学校、渋川高等学校、渋川女子高等学校、
富岡高等学校、太田フレックス高等学校※、沼田女子高等学校※、太田高等学校※

※令和 6 年度より

○その他

群馬県教育ビジョンに基づく児童生徒がエージェンシーを発揮して主体的に取り組む学びや活動は、指定校や協力校に限らず全県で取組が広がっています。これらの取組も全県で情報共有していきます。

指定校等各学校における実践の広がり

日々の教育活動を「自律した学習者」育成の視点で見直し、更に児童生徒が中心となる教育活動へアップデート

小学校

- 児童の自己決定を重視した学習環境**
 - ・授業計画や教材の工夫により、児童が自ら選択する機会を増やし、考えて学べる環境を整備した。
- 児童を中心とした各種活動**
 - ・学級活動や児童会活動、学校行事の企画・運営を児童中心にし、主体的に関われる場が増えた。
- 異学年・地域との交流強化**
 - ・縦割り班活動や発表会等を通じて、異学年や地域・保護者との関わりを深め、他者を意識する機会が増えた。
- 教育方針の転換と教職員の意識改革**
 - ・教育活動を「させる」から「する」へ転換し、「考えて行動する子」を育てるための共通理解を図った。

中学校

- 主体的な学びの深化**
 - ・自己決定や対話を重視し、試行錯誤を通じた学習を推進。ICTを活用した振り返りを行い、生徒の学びの可視化と教員の見取りを支援した。
- 学校運営への生徒参画**
 - ・生徒自身が「目指す生徒の姿」を考え、行動指標を作成。生徒会や委員会活動を充実させ、学校運営に積極的に関与できる環境を整備した。
- 家庭・地域との協働による教育の充実**
 - ・育成すべき力を明確化し、保護者や地域と情報を共有した。非認知能力の重要性を発信し、共通認識を醸成した。
- 教員の指導力向上と学校間連携**
 - ・小中合同研修で教育方針の共通理解を深めた。教員の主体性を尊重した校内研修を実施し、指導力の向上を図った。

高等学校

- 主体的な学習習慣の確立**
 - ・時間管理や学習計画の意識を高め、最適な学びを自ら考え、デザインできる場を設定した。
- 生徒が企画・運営できる環境づくり**
 - ・学校行事や生活環境の整備を生徒が企画・運営し、自らの手で学校づくりに関わる機会を提供した。
- 国内外における学びの機会創出**
 - ・専門家や外部機関と連携した活動を推進した。海外教育機関と協働し、教育分野における国際理解、交流の機会を提供した。
- 探究的な学びと多様な指導体制**
 - ・生徒の主体性を育む授業や探究的な活動を充実させた。複数教員による多面的な指導で個々に応じた学びを支援した。

実践を通して見えてきた児童生徒・教員の変化

児童生徒も教員もエージェンシーを発揮する場面が増加

※記述は児童生徒の振り返り及び教員への聞き取りによる

児童生徒の変化

- 課題を自分事化し、自ら考え判断し行動する児童生徒が増えた。
- 他者を尊重し、協働しながら主体的に学びに取り組むようになった。
- 新たな挑戦に積極的に取り組み、自己表現の機会が増えた。
- 責任を持って行動し、学校全体の活動にも参画する意識が高まった。
- 学校内外の人々との関わりが増え、広い視野を持つようになった。

教員の変化

- 学校の状況に応じた主体的な教育活動を企画・実施するようになった。
- 児童生徒の主体性を尊重し、支援する指導へと意識が変化した。
- 指定校・協力校の実践事例の共有により、取組の幅が広がった。
- 児童生徒の成長を見守り、対話を重視した関わりが増えた。
- 学校全体で非認知能力の育成を意識した指導を行うようになった。